

案件（１） 前回分科会のふりかえり（ご意見を踏まえた分析について）

1. 第5回分科会（令和2年3月10日）での検討内容について

- ◆第5回分科会では、利用者・市民アンケート結果から得られる行き先意向を機械的に運行ルート案として反映した「アンケート集約結果に基づく再編ルート案」についての検討を行った。
- ◆「アンケート集約結果に基づく再編ルート案」については、「阪急バス案」と比較し、相違点や今後の検討の進め方について議論した。

2. 第5回分科会での意見内容

- ◆第5回分科会の主な意見は下記のとおり。

①箕面中央線の新稲経由路線について

- ・池田市域や新稲から、箕面駅付近にアクセスするため、現在の箕面中央線の新稲経由路線を存続させてほしい。
- ・箕面市域外の利用者アンケート結果を確認し、当該路線の存続を検討する必要がある。

②北大阪急行線延伸区間（鉄道）との並行路線について

- ・鉄道との並行路線について、利用者は利便性の高い鉄道を選択することから、一般的に鉄道と並行したバス路線は廃止される。
- ・鉄道との並行路線の利便性を検討するために、新駅でのバスから鉄道への乗り換えによる速達性を検証する必要がある。
- ・鉄道との並行路線を廃止した場合、運賃面での利用者負担を考慮し、バスと鉄道の乗り継ぎ割引について、他事例を参考に今後検討する必要がある。

③「アンケート集約結果に基づく再編ルート案」と「阪急バス案」の相違点について

- ・速達性、需要予測、採算性について検証する必要がある。
- ・運行ルート案については、2回のパブリックコメントで市民の意見を聴取し決定する。
- ・ルート案で相違している路線については、社会実験を通しての検証も必要。

3. 第5回分科会の意見内容を踏まえた分析について

①箕面市域外の集計結果について

- ・利用者アンケート結果の箕面市域外の意向を確認し、「アンケート集約結果に基づく再編ルート案」を修正する。

②速達性の検証について

- ・鉄道との並行路線及び石橋線の箕面萱野駅経由について、速達性を検証する。

③需要予測について

- ・利用者アンケートの集計結果から、再編後の各路線の需要予測を行う。

④採算性の検証について

- ・需要予測をもとにした運賃収入予測と運行経費予測から再編後の採算性を検証する。

⑤分科会検討案について

- ・②～④の検証結果を踏まえて「アンケート集約結果に基づく再編ルート案」を修正した、「分科会での検討に基づく再編ルート案」を確認する。